

広島県内の2高専が学力入試で連携 (広島県内2高専連携入試制度)

呉工業高等専門学校と広島商船高等専門学校が学力検査による連携入試制度を導入
— 入試制度上の連携により進路選択の幅を拡大 —

呉工業高等専門学校（呉市）および広島商船高等専門学校（豊田郡大崎上島町）は、広島県内に所在する2つの高等専門学校として、学力検査による連携入試制度を共同で導入します。

本制度は、呉工業高等専門学校の4学科（機械工学科・電気情報工学科・環境都市工学科・建築学科）および、広島商船高等専門学校の総合科学科（電子情報システム系・流通情報マネジメント系）を志望する受験生を対象に、**一度の学力検査で両校への出願を可能とするものです。**

出願時に示された志望順位に基づき、第1志望校の合否判定を行い、不合格となった場合には第2志望校で判定を行います。学力検査は5教科の共通問題を用い、各校がそれぞれの評価方法により判定します。

本制度は、**各校の教育の特色を尊重しながら、受験生の進路選択の可能性を広げることを目的とした入試制度上の連携**です。

広島県内の2高専が連携して入学者選抜を行うことで、高専進学を希望する受験生にとって、より柔軟で分かりやすい進路選択が可能となります。

今後も両校は、入学者選抜制度の工夫を通じて、高専教育の魅力向上と、受験生・保護者の利便性向上に取り組んでまいります。

お問い合わせ先

広島商船高等専門学校 学生課入試係

電話 0846-67-3020

メール nyushi@hiroshima-cmt.ac.jp



呉高専では、機械工学科、電気情報工学科、環境都市工学科、建築学科の工学系4学科があり、入学者学力選抜の出願時に第一志望から第四志望までを選択し、入学した学科で5年一貫の教育課程で、各学科のカリキュラムに沿って学修します。

数理・データサイエンス・AI教育プログラムの「リテラシーレベル」をすべての学科で全学生が学習し、「応用基礎レベル」に選択科目の履修により到達することができます。

令和8年度までは第一志望と第二志望の学科を選択することになっていましたが、令和9年度からは第四志望学科まで選択できるようになります。さらに、広島県内2高専連携入試制度により、第五志望学科として広島商船高専の総合科学科を選択可能になります。



広島商船高専の総合科学科は、工学を基礎にした「ものづくり」の分野に加えて、多くの高等専門学校では取り扱ってこなかった流通・物流・経営などにおける「社会システムづくり」を取り扱う技術者を育てる学科です。

1年生では情報系人材育成を視野に入れたIoT・AI・データサイエンス科目群の基礎を学修し、2年次に新たなデジタル社会に対応した「ものづくり」ができる技術者を育成する電子情報システム系と、DX社会を支える流通・物流システムの構築に携わる「ことづくり」ができる技術者を育成する流通情報マネジメント系を選択できるカリキュラムとなっていることが特徴です。

本制度への参画を通じて、県内外の受験生に対し、より多様な進路選択の機会を提供します。

※広島商船高専の総合科学科では、弓削商船高専の創造工学科の2校を併願できる、工業系複数校志望受験制度を令和8年度入学者選抜まで行っていましたが、令和9年度からはこれを廃止し、広島県内2高専連携入試制度に移行します。

※広島商船高専の商船学科では、従来から弓削商船高専（愛媛県）および大島商船高専（山口県）の商船学科の3校を併願できる、商船学科複数校志望受験制度を行っており、今後も継続して実施する予定です。